

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和5年（2023年）11月28日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名） 杣 晴薫

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 I 安全で快適なまちづくり
	【具体的な取り組み】 4 生活の利便性の追求と環境改善 (6) 武庫川河川敷公園の整備を図る ①ドッグランを新設するなど、 ペットと人との共生を図る
取組内容の関係課	都市安全部 生活安全室 公園河川課

2 対話の状況

<p>(1) 実施概要</p>
<p>ア 日時： 令和5年（2023年）11月7日 11：20～11：50</p> <p>イ 場所： 宝塚市役所 第2庁舎 会議室A</p> <p>ウ 出席者： 以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none">＜まちづくり協議会＞ 宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会●＜関係課＞ 雑賀公園河川課長、石田職員（公園河川課）＜協働の取組推進担当次長＞ 戸井室長
<p>(2) 確認できたこと</p>
<p>ア ドッグラン設置の要望に至る経緯 武庫川河川敷公園で犬の散歩をする人も多いが、糞尿の始末について地域で意見が出た。犬の活動エリアを区切ることで、問題に対処できるのではと考える。</p> <p>イ ドッグラン設置についての検討 県の管理である武庫川河川敷を市が公園として占有しているため、県の許可が必要となる。固定式の構造物を建てるのはハードルが高く、仮設的な物となると、誰が管理をするのかなど課題が多い。犬の散歩に関する苦情や犬同士のトラブルも多少はあるが、糞尿の始末の問題も含め、ドッグランを作れば解決するのかという疑問もある。</p> <p>ウ 今後について ドッグランの必要性については、地域で再度検討する。市にはこれからも、武庫川河川敷全体として、利用者へのルール啓発やマナー啓発に取り組んでほしい。</p>